

第7回 ニッケピュアハート エッセー大賞

<高校の部 大賞>

「放射能よ覚悟しろ」

大内健吾

私の夢は、放射能という人体には良い影響を与えることのない物質を、故郷であるこの福島から無くすことである。

昨年3月11日に発生した東日本大震災では地震の被害のみならず、原子力発電所の事故が今にいたるまで大きな影響をこの福島に及ぼしている。私は学校で農業を学ぶものである。それだけに農産物の影響には大きな関心を持っている。報道ではどんなに安全性を訴えても、現在に至るまで「放射能が怖くて食べられない」や「福島のものを買えない」といった意見が聞かれる。つい最近学校でも内部被曝の調査があったが、事故後放射線のことを注意した食生活をしてきた人と、気にしないで生活をしてきた人とは、内部被曝が見つかる確率が違うそうだ。このようなことが報道されれば、福島の農産物はなおさら食べてはもらえないだろう。先程も書いたが、私は農業を学んでいる。それだけにこのような話を聞いて、居ても立ってもいられない気持ちで毎日を過ごしている。自分にできることは何だろうか考えた時、やはりこの放射能について学ばなくてはならないという決意をした。私は進学先として放射線工学科がある学校を選んだ。そこで私はどうしたら放射線量が下がるのか、どうしたら人体から放射能を取り除けるのかを学んでいきたいと思っている。

私はとにかく福島が大好きだ。一日でも早く安心して住むことができる福島。元通りの笑顔で過ごすことができる福島を取り戻したい。私は福島を元通りにしたいという気持ちは誰よりも強く持っているという自負がある。進学先では勉学に励み、行動で示していきたい。言うだけで何もしない人間だけにはなりたくない。

放射能よ覚悟しろ。